

調査結果の概要

(平成17年9月11日執行 衆議院議員選挙)

1 年代別にみた投票行動

・今回衆院選と前回衆院選を比較してみると、年代別推定投票率は、25～29歳及び30～34歳について、それぞれ11ポイント以上上回っており、全体の投票率の向上に大きく寄与した。

今回衆院選の平均実投票率は、65.59%で、前回衆院選の58.35%に比べ+7.24ポイント、7月都議選の43.99%と比べると+21.60ポイントとなっており、いずれの年齢層をみても投票率が向上している。

年代別推定投票率について、主に増加ポイント、差の大小に着目して、今回衆院選と前回衆院選を比較すると、以下のとおりである。40～44歳の年齢層までは平均実投票率の差、7.24ポイントを上回っている。逆に、45～49歳の年齢層から徐々にポイント差が縮小している。

20歳	今回衆院選	48.28%	前回衆院選	40.22%	ポイント差	+ 8.06
21～24歳	今回衆院選	43.01%	前回衆院選	33.28%	ポイント差	+ 9.73
25～29歳	今回衆院選	47.62%	前回衆院選	35.88%	ポイント差	+11.74
30～34歳	今回衆院選	56.03%	前回衆院選	44.85%	ポイント差	+11.18
35～39歳	今回衆院選	62.40%	前回衆院選	52.74%	ポイント差	+ 9.66
40～44歳	今回衆院選	67.72%	前回衆院選	59.50%	ポイント差	+ 8.22
45～49歳	今回衆院選	70.81%	前回衆院選	64.28%	ポイント差	+ 6.53
50～54歳	今回衆院選	73.30%	前回衆院選	67.11%	ポイント差	+ 6.19
55～59歳	今回衆院選	76.53%	前回衆院選	71.65%	ポイント差	+ 4.88
60～64歳	今回衆院選	79.51%	前回衆院選	75.75%	ポイント差	+ 3.76
65～69歳	今回衆院選	82.19%	前回衆院選	78.77%	ポイント差	+ 3.42
70歳代以上	今回衆院選	71.18%	前回衆院選	69.26%	ポイント差	+ 1.92

・今回の衆院選について年代別に推定投票率をみると、21～24歳が43.01%で最も低く、年齢とともに高くなっている。この傾向は、従来の選挙と同様である。

最近行われた選挙と同様に、21～24歳（43.01%）が最も低く、年齢とともに徐々に高くなる。65～69歳（82.19%）で最も高くなり、70歳以上（71.18%）で再び低くなる傾向がみられる。

2 男女別・年代別にみた投票行動

・年代別推定投票率を男女別にみると、60 歳～64 歳までは女性が男性に比べ高くなっている。

平均実投票率は、男性 64.56%、女性 66.60%で、女性の方が 2.04 ポイント高くなっている。

男女のポイント差について、前回衆院選のポイント差（男性 58.54%、女性 59.24%、差 0.7 ポイント）と比較すると、差が広がった。

逆に、7 月都議選のポイント差（男性 42.81%、女性 45.14%、差 2.33 ポイント）と比較すると差が縮小している。

年代別推定投票率をみると、20 歳から 60 歳～64 歳までは、女性が男性より高くなっている。

特に、30 歳～34 歳について、男性 53.40%、女性 58.88%、ポイント差 5.48 と最も差が大きくなっている。

3 地域別・年代別にみた投票行動

・平均実投票率を区部・市部・郡部・島部の地域別にみると、

①島部（70.28%）、②市部（66.93%）、③郡部（65.12%）、④区部（64.97%）の順になっている。

島しょ地区の平均実投票率は 70.28%と他の地域に比べ 3.35～5.31 ポイント高くなっている。前回衆院選は、①島部（62.20%）、②市部（59.45%）、③区部（58.21%）、④郡部（56.79%）の順で区部と郡部の投票率が逆転している。

・年代別推定投票率の最も低い年代について、いずれの地域も 21～24 歳である。（島しょ地域を除く）

21～24 歳の推定投票率について、区部（41.57%）、市部（44.46%）、郡部（43.28%）、島しょ（43.30%）となっており、全体の投票率に比べ低くなっている。なお、島しょは 20 歳（37.68%）が最も低い。

4 区部地域別・年代別投票行動

23 区をさらに、①都心地域、②城南地域、③城西地域、④城北地域、⑤城東地域の 5 つに分け、地域ごとの概要をまとめた。なお、26 市 5 町 8 村については、面積が広く、また区部に比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

①都心地域(千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区)

平均実投票率、66.75%は5つの地域の中で最も高い。年代別推定投票率をみると、30歳代(60.97%)、70歳代以上(71.87%)は他の地域が上回っているが、全体としては高い。

②城南地域(品川区・大田区)

平均実投票率、65.31%は3番目の数値である。年代別推定投票率をみると、40歳代(68.91%)、60歳代(77.80%)、70歳代以上(71.81%)は城東地域に次いで低くなっている。

③城西地域(目黒区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区)

平均実投票率、64.61%は4番目の数値である。年代別推定投票率をみると、20歳代(43.84%)、30歳代(58.16%)が城東地域について低くなっている。

④城北地域(豊島区・北区・板橋区・練馬区)

平均実投票率、66.70%は2番目に高い数値である。年代別推定投票率をみると、30歳代(61.24%)及び70歳代以上(72.49%)はいずれも5つの地域の中で最も高くなっている。

⑤城東地域(墨田区・江東区・荒川区・足立区・葛飾区・江戸川区)

平均実投票率、63.22%は5つの地域の中で最も低い。年代別推定投票率をみると、特に、30歳代(54.57%)、50歳代(71.88%)が低くなっている。

※注 ①平成17年9月11日執行衆議院議員選挙を「今回衆院選」と略した。

②平成17年7月3日執行東京都議会議員選挙を「7月都議選」と略した。

③平成15年9月11日執行衆議院議員選挙を「前回衆院選」と略した。